

第5章 分野別施策

第1節 各分野別施策の方針

本計画を推進するための分野別施策は、名護市を中心に推進する「企業誘致」関連の施策と、民間活力を中心に推進する「事業創発」関連の施策に大分され、それぞれを「パートナー連携」「KGI・KPI」「ヒト（人・文化）」「モノ（デジタルテクノロジー・事業インフラ）」「カネ（ファイナンス）」「体制・情報発信」の6つの分野に分けた、計12分野にて整理した。

各分野における主な検討要素を以下に示す。

検討の観点	主な検討要素	
	企業誘致	事業創発
パートナー連携	<ul style="list-style-type: none"> 進出企業間連携のあり方 名護スマートシティ推進協議会と誘致関係者の連携促進の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスエコシステム形成のあり方・方法 求心力のあるプレイヤーの参画促進の方法
目標達成に向けたKGI/KPI	<ul style="list-style-type: none"> 経済金融特別地区における企業誘致の質・量の観点によるトラッキング可能なKGI・KPI 設計見直しルール・体制のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> 事業創発観点の実効性の高いKGI・KPI 設計見直しルール・体制のあり方
ヒト (人・文化)	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致推進に不可欠なデジタル人財育成環境のあり方 雇用促進・雇用確保の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 事業創発促進人財の育成環境のあり方 市民や関係者の機運醸成／事業創発土壌形成の仕組み
モノ (デジタルテクノロジー・事業インフラ)	<ul style="list-style-type: none"> 本計画に合わせた既存施設の環境・あり方 労働者の暮らす環境のあり方 進出企業への支援／継続的成長の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> イノベーション創出拠点の役割 実証実験誘致に向けた事業フィールドのあり方 一貫した事業化・事業拡大の仕組み
カネ (ファイナンス)	<ul style="list-style-type: none"> 既存税制特例措置の有効活用の仕組み 企業誘致観点での新しいファイナンス支援のあり方・仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 実証事業推進／事業化に向けたファイナンス支援のあり方・仕組み
体制・情報発信 (推進・運用体制／情報発信)	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致・事業創発の連携体制のあり方 企業誘致推進施策のPDCAサイクルの仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 事業創発推進のPDCAサイクルの仕組み 情報発信によるまちのブランディング形成の方法

第2節 各分野別施策の詳細

12分野の分野別施策について施策概要をLv.1（大分類）／Lv.2（小分類）として、Lv.2の施策について想定実施時期を整理した。

類型	#	施策概要		施策実施時期		
		Lv.1	Lv.2	短期 R5~R7	中期 R7~R9	長期 R9~
企業誘致	パートナー連携	(1) 企業誘致関係者との連携促進	・既存進出企業間の連携促進			
			・名護スマートシティ推進協議会と既存進出企業との連携促進			
			・沖縄県・県外・海外の関係機関との連携促進			
	KGI/KPI	(1) KGI・KPI設計・精査	・KGI(重要目標達成指標)の設計・定期見直し			
			・KPI(重要業績評価指標)の設計・定期見直し			
	ヒト	(1) 高度人材育成環境の整備	・研修プログラムの拡充(遠隔地研修等)			
			・対象者別の高度人材育成カリキュラム策定(デジタルリテラシー含むビジネススキル系・マインド系)			
		(2) 雇用確保の促進	・地域の「学」と連携した人材獲得の推進			
			・人材プールシステムの構築(ノマドワーカー・フリーランス・副業者等多様な雇用形態の活用)の仕組み整備			
		(2) 市内オープンイノベーション・事業創発拠点との連携強化	・市内オープンイノベーション・事業創発拠点との連携強化			
モノ (テクノロジー・事業インフラ)	(1) 新理念・方針に合わせた既存施設の改修・ルール整備	・入居条件の再整理				
		・施設利用ルールの再整備				
		・入居企業の労働者向け施設環境の改善・拡充(Web会議スペース、カフェ・ラウンジ施設、通信設備強化等)				
		・誘致対象企業の業種や企業規模に合わせた諸室面積の見直し検討				
	(2) 交通インフラの拡充	・市街地⇄豊原間のアクセス改善				
		・市外(都市部)からのアクセス改善				
		・生活インフラ(食・住等)の整備・高度化("住む×働く"イメージの醸成)				
		・既存進出企業の進出後支援強化				
カネ	(1) 実証事業・社会実装に係るファイナンス整備(補助事業等を含めた財源確保)	・外部資金調達手段の検討				
		・既存の税制特例措置に関する相談+提案体制の検討				
		・新たな税制特例措置の模索				
		・既存制度の見直し・刷新				
	(2) 税制活用相談・提案体制の整備	・特許出願等の知的財産権の取得にあたっての幅広い支援の検討				
体制・ 情報発信	(1) 【体制】企業誘致・事業創発の連携体制確立	・企業誘致(名護市)・事業創発(名護スマートシティ推進協議会)での連携体制整備				
		・管理体制・管理プロセス検討				
		・【情報発信】地域課題解決型ビジネスエコシステムの取り組み発信によるまちのブランディング(響鳴都市)形成/県内外・海外への発信				
		・定期発信方法の検討				
	(2) 【情報発信】地域課題解決型ビジネスエコシステムの取り組み発信によるまちのブランディング(響鳴都市)形成/県内外・海外への発信	・非定期大型発信方法(イベント等)の検討				
パートナー連携	(1) エコシステムプレイヤーの役割・位置づけ整理	・推進者・実行者・協力者等のロールや官民学の位置づけ整理				
		・候補選定に向けたプロセスの確立				
		・候補企業の選定				
		・既存進出企業				
	(2) 誘致テーマ関連業種に即したエコシステム参画候補企業の選定	・県内外・海外プレイヤー				
		・求心力あるプレイヤー				
KGI/KPI	(1) KGI・KPI設計・精査	・KGI(重要目標達成指標)の設計・定期見直し				
		・KPI(重要業績評価指標)の設計・定期見直し				
		・育成プログラム形成(研修/セミナー/ワークショップ等)				
		・オープンイノベーションピッチ・コンテスト開催				
ヒト	(1) 事業創発・課題解決人材育成環境の整備(地理的制約を超えた場の形成)	・異業種や様々な世代が交わり"新たな気づき"を与えるプログラム形成				
		・市民の機運醸成				
		・企業誘致関係者の機運醸成(自治体・NPO法人・企業等)				
	(2) デジタル推進土壌の機運醸成	・市民の機運醸成				
		・企業誘致関係者の機運醸成(自治体・NPO法人・企業等)				
モノ (テクノロジー・事業インフラ)	(1) イノベーション創出拠点の設置	・名護市内や県外(都心)での事業創発活動拠点の設置検討				
		・豊原企業集積エリア、市街地再開発エリアとの連携等による実証フィールドの創出				
		・地域課題テーマ創出ソリューション検討(AI等を活用した名護のアセット×事業機会の提案ソリューション)				
		・地域課題テーマ×参画プレイヤーのビジネスマッチングプラットフォーム検討				
カネ	(1) 実証事業・社会実装に係るファイナンス整備(補助事業等を含めた財源確保)	・外部資金調達手段の検討				
		・育成プログラムのソリューション検討(時間や場所の制約なく学習できるソリューション)				
		・事業推進の支援体制整備(事業開発から事業化までの節目の支援の拡充)				
体制・ 情報発信	(1) 【体制】企業誘致・事業創発の連携体制確立	・管理体制・管理プロセス検討				
		・【情報発信】地域課題解決型ビジネスエコシステムの取り組み発信によるまちのブランディング(響鳴都市)形成/県内外・海外への発信				
		・定期発信方法の検討				
		・非定期大型発信方法(イベント等)の検討				